

## ●避難の判断と避難するときの注意点

### 避難のタイミング

避難するかしないかは、ラジオ・テレビや行政などからの情報、自分の目と耳で確かめた情報をもとに判断します。自宅の安全が確保できれば、自宅内避難に努めましょう。

### 避難の判断ポイント

- ①倒壊等のおそれがあるとき
  - ・自宅が倒壊するおそれがあるとき、もしくは倒壊したとき
- ②火災が拡大したとき
  - ・自宅で火災が発生し、火が天井まで燃え移ったとき
  - ・近隣で火災が発生し、延焼するおそれがあるとき
- ③避難に関する情報が発令された時
  - ・市から避難準備情報・避難勧告等が発令されたとき



### 災害時も自宅で生活することが目標

自宅を離れて避難所で生活することは大変不自由なことです。自宅が安全であればプライバシーが守れるなど、精神的な負担も少なくなるので、住み慣れた自宅に戻り生活を続けましょう。

### 避難の心得

- ①避難する前に、もう一度火の元を確かめ、ブレーカーを切る（通電火災の防止）
- ②ヘルメットや防災ずきんで頭を保護する
- ③荷物は最小限のものにする
- ④外出中の家族には連絡メモを残す
- ⑤避難は徒歩で
- ⑥高齢者や子どもの手はしっかり握る
- ⑦移動するときは狭い道、塀ぎわ、川べり等を避ける
- ⑧安全を最優先にし、最寄りの指定避難所へ（21～25ページ）
- ⑨災害発生後、車で避難すると避難場所やその周辺等が車で混雑し、かえって避難が遅れます。原則として車での避難はしないようにしましょう。

